

QUALIFYING NEWS FLASH

Round
1



予選速報 2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1戦 2009年4月5日(日) 富士スピードウェイ

発行人/編集人:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

www.f-nippon.co.jp

Take Free
ご自由におとりください

平手晃平 (ahead IMPUL) が初ポールポジションを獲得 2位・伊沢と共に2年生コンビが決勝レースを最前列からスタート



4月4日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン開幕戦・予選が午後1時45分より1時間に渡り行われ、今季参戦2年目となる若手のNo.20 平手晃平 (ahead IMPUL) が、フォーミュラ・ニッポンで自身初となるポールポジションを獲得した。

Q1では伊沢がトップタイムを記録

予選方式は昨年と同様のノックアウト方式。心配された雨は降らず、曇りのコンディション。予選第1セッション(Q1)は20分間で行なわれた。まずピットを後にしたのは、No.41 伊沢拓也 (DOCOMO DANDELION)、No.7 国本京佑 (Team LeMans)、No.48 立川祐路 (CERUMO/INGING)。国本、立川、大嶋はそのままアタックをする。他がアタックに入ったのは、残り時間が約6分半。チェッカー間際にトップタイムをマークしたのは、伊沢だ。平手、No.2 プノワ・トレイユ、松田次生のLAWSON IMPUL勢が続く。ここで敗退した



のは、大嶋と立川。残る11台が第2セッション(Q2)へと駒を進めた。

10分間のインターバル後、午後2時15分からQ2が始まる。ここでも国本と伊沢が真っ先にコースイン。伊沢はやはりタイヤ慣らしだけでピットイン。このころから気温/路面温度が徐々に下がったため、残り約7分で残るマシンが続々コースインし、タイムアタック。ここでトップタイムをマークしたのは松田。平手、No.31 ロイク・デュバル (NAKAJIMA RACING) が続いた。僅差で第3セッション(Q3)進出を逃したのは、国本とNo.40 リチャード・ライアン (DOCOMO DANDELION)、No.10 塚越広大 (HFDP RACING) だった。

Q2トップの松田がトラブルで8位に沈む

再び10分間のインターバルを経て、Q3が始まったのは、午後2時35分。セッション開始から3分で、ほとんどのマシンが続々コース

に入った。この頃、ピットでブレーキパッドの取り替え作業を行っていたのは松田。Q2のアタック後に、ブレーキパッドが傷むで利かなくなったため、メカニックが総出で交換。ようやくコースインしたのは、残り時間が4分半。ぎりぎりアタックできるかどうかという状況だ。その間に、他のドライバーは次々にアタック。ここでチェッカー目前にトップに立ったのは、トレイユ。だがその直後、1分24秒653というトップタイムを叩き出したのは平手だった。コントロールラインでチェッカーが提示された時点で最後のアタックをしていた伊沢が、2番手タイムをマーク。平手とトレイユの間に割って入り、昨年の開幕戦と同様、フロントロウにつけている。以下、4番手にNo.36 アンドレ・ロッター (PETRONAS TOM'S)、5番手にNo.32 小暮卓史 (NAKAJIMA RACING)、6番手にデュバル、7番手にNo.8 石浦宏明 (Team LeMans)と続き、アタックし切れなかった松田が8番手という予想外の結果に終わっている。





Pole Position: 平手 晃平 ahead TEAM IMPUL / #20

大事にレースをしてポールトゥウインを決めたい

開幕前にテストがあったんですけど、なかなかコンディションに恵まれず、今日久々にドライで走ることができました。今日は前回の富士で良かったセットアップで走り始めて、少しずつ煮詰めていこうと思っていたんですけど、時間がなかったので思い切ったセットアップをしたら、結構いい感触だったので、予選もそのまま行きました。予選も時間が短いので、あまり思い切ったセットアップ変更はで

きないんですけど、朝のフリー走行で良かった部分をQ1、Q2と少しずつ変えて行って、Q3はQ2の状態のまま走りました。クルマの状態はベストではないですけど、それでもある程度いい感触で走れたのが、この結果につながったと思います。ポールポジションを獲ったのは本当に久々なので、明日は大事にレースをして、ポールトゥウインを決めたいですね。



2nd: 伊沢 拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING / #41

スタートでトップに立ち、逃げ切りしたい

テストから調子は良かったんですが、速いチームについていけない。でも、フリー走行後にチームがセットアップを変更したら、予選は非常にクルマが良かったです。Q1のタイムは僕もビックリ。ただ、僅差でポールを逃して、悔しい気持ちと、チームに申し訳ない気持ちがあります。去年の開幕戦も予選2位で1コーナーまでにトップに立てたんですが、そこで抜かれた。今年はスタートでトップに立ち、逃げ切りたいです。

PP 20 平手 晃平
ahead TEAM IMPUL
Quality 1: 1'25.022
Quality 2: 1'24.728
Quality 3: 1'24.653
Ave.: 194.049km/h

Fresh stars on the front

3 2 B.トレイエ
LAWSON TEAM IMPUL
Quality 1: 1'25.024
Quality 2: 1'25.422
Quality 3: 1'24.756
Ave.: 193.813km/h

41 伊沢 拓也
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Quality 1: 1'24.742
Quality 2: 1'25.863
Quality 3: 1'24.692
Ave.: 193.959km/h

4 36 A.ロツテラー
PETRONAS TEAM TOM'S
Quality 1: 1'25.464
Quality 2: 1'25.197
Quality 3: 1'25.045
Ave.: 193.154km/h

Starting Grid

Race start: 14:30

タイムスケジュール(決勝日)

8:50	FCJ 第2戦 決勝(21周)
9:50 >> 10:20	Formula NIPPONフリー走行
10:45	CIVIC東日本 決勝(10周)
11:30 >> 12:10	ピットウォーク
12:45	F3 第2戦 決勝(21周)
14:30	Formula NIPPON決勝(55周)

Weather
本日の天気(富士スピードウェイ)

時間	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00
天気	曇り	晴れ	曇り	曇り	曇り
℃	12	14	14	11	9

Pit Assignment

2	1	20	*	48	*	32	31	*	*	41	40	37	36	*	*	10	*	8	7
◀ First Corner										▶ Pit Road									

Round 1 FUJI Race Preview - 開幕戦決勝レースの見どころ -

若手vs.実力派がスタートから激突必至!! 新生フォーミュラ・ニッポンで最初に勝利の雄叫びを挙げるのは誰だ!?

開幕戦でフロントローを独占したのは、参戦2年目の平手と伊沢。その若手のすぐ後ろには、トレイエ、ロツテラーそして小暮らと実力派がズラリ。これはもう、決勝スタートの瞬間、なにが起ころうとも不思議ではない。好スタートを切りドンドン逃げたい若手。隙あらばロケットスタートでトップ奪還もくむベテラン勢。まずはスタートの駆け引きに、ぜひ注目したい。また開幕戦前の公式テストが不安定な天

候だったこともあり、タイヤマネジメントなどを含め、どこもレースに向けての状況を見極められていない。この不確定要素が55週の決勝レースでどのように影響するのか。そして今季から搭載されたオーバーテイクシステムによるパッシングは、どう展開を左右するのか? 特に不本意な予選結果に終わった松田がこれを使い、どんな逆襲を見せるのかは興味深い。そして、気になっていた雨の

心配もなさそうだ。さあ、ニューマシンを駆って初めての勝ち名乗りをあげるのは、どのドライバーだろうか?





3rd: ブノワ・トレルイエ LAWSON TEAM IMPUL / #2

まずはポイントを確実に取りたい

予選Q1は、すごくクルマが良かった。でも、トラクションが足りなくてセットアップを変えたら上手いかななくて。Q3は元に戻した。まだ完璧じゃないね。レースでは、まず完走しないと。あとはスタートで誰かを押し出さないように(笑)。もちろん、ベストを尽くす。ただ、実際に誰もこのクルマでロングランしていないし、タフなレースになると思うし、色々なことが起こると思うので、まずはポイントを確実に取りたい。



4th: アンドレ・ロッターラー PETRONAS TEAM TOM'S / #36

4番手というポジションは決して悪くない

クルマのバランスは悪くない、ダウンフォースもある。だけど、このダウンフォースが急にどこかへ行っちゃう(笑)。09タイヤはグリップしにくいし、たくさんスライディングするし、コントロールもしにくい。でも、それをコントロールするのは嫌いじゃないし、むしろ楽しんでるよ。全体的にはもう少しクルマを上げられるだろうし、4番手というポジションも決して悪くない。2列目からいいスタートを決めるよ。



5th: 小暮 卓史 NAKAJIMA RACING / #32

もうちょっといけると思った。悔しい

セッティングを進めるにあたって難しいところがありました。もうちょっといけると思ったんですが、悔しい。朝のフリー走行での合わせ込みがうまくいかなかったこともあってか、予選にもそれが響いたかもしれません。別に他のクルマにひっかかったわけでもないし。ただ、最後のセッションはフロントタイヤの温まりが悪かったですね。でもそれはみんな一緒です。悔しいなあ。ポールを獲得したと思うのに。

Row! 2009 Formula NIPPON should be an exciting race!

新生・フォーミュラ・ニッポン開幕戦。予選もフレッシュ・ドライバーが躍進! さあ、決勝ではどんな展開が待っているだろうか!?



32 小暮 卓史
NAKAJIMA RACING
Qualify 1: 1'25.609
Qualify 2: 1'25.261
Qualify 3: 1'25.187
Ave.: 192.832km/h



7 石浦 宏明
Team LeMans
Qualify 1: 1'25.213
Qualify 2: 1'25.098
Qualify 3: 1'25.572
Ave.: 191.965km/h



7 国本 京佑
Team LeMans
Qualify 1: 1'25.519
Qualify 2: 1'25.507
Qualify 3: -
Ave.: 192.111km/h



10 塚越 広大
HFDP RACING
Qualify 1: 1'25.881
Qualify 2: 1'25.718
Qualify 3: -
Ave.: 191.638km/h



48 立川 祐路
CERUMO/INGING
Qualify 1: 1'26.270
Qualify 2: -
Qualify 3: -
Ave.: 190.411km/h



31 L.デュバル
NAKAJIMA RACING
Qualify 1: 1'25.209
Qualify 2: 1'24.838
Qualify 3: 1'25.359
Ave.: 192.444km/h



1 松田 次生
LAWSON TEAM IMPUL
Qualify 1: 1'25.180
Qualify 2: 1'24.697
Qualify 3: 1'26.641
Ave.: 189.596km/h



40 R.ライアン
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Qualify 1: 1'25.779
Qualify 2: 1'25.612
Qualify 3: -
Ave.: 191.875km/h



12 37 大嶋 和也
PETRONAS TEAM TOM'S
Qualify 1: 1'26.116
Qualify 2: -
Qualify 3: -
Ave.: 190.752km/h

予選日: 2009年4月4日(土)
天気: 曇り
路面: ドライ
予選通過: 1'30.673 : 107%

Round 1 FUJI TOPIC

初の実戦! オーバーテイクシステムはどう使われるのか!?

開幕戦・決勝レースで初めて実戦使用されるオーバーテイクボタン。このボタンをドライバーたちはどのように活用しようと思っているのか? まず予選3番手だったブノワ・トレルイエは言う。「間違いなくフォーメーションラップでは使わないよ(笑)。使うとしたら富士ではやっぱりストレート。でも、オーバーテイクボタンを使うと回転は上がるけど、その分1コーナーでのブレーキは若干手前になるんだよね。だから、実際にはなかなか使い方が難しいと思うよ」

一方、ポールの平手はまた違う意見だ。「そうですね。スタートでトップに立った場合は、1周して戻ってきたストレートとか、ピット作業を終えた次の周とか。いずれにしても、タイヤが新しい時に使うのが差をつけるにはいいんじゃないかと思いますね」。他のドライバーは活用するのか、こも決勝の見どころと言えよう。





株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

At the heart of the image



PIAA MOTOR RACING PROJECT JAPAN
PRIDE AND CONFIDENCE IN PEOPLE AND PRODUCTS



モータースポーツの
リーディングペーパー

Formula
NIPPON'09



購読のお申し込みは

0120-026-999

FAX 0120-026-993

http://www.chunichi.co.jp/chuspo/



1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:



株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131
http://www.f-nippon.co.jp

編集制作: SIM co., Ltd./JRPオフィシャルフォトグラファー: 小林稔、大西靖、田村弥
撮影機材: Nikon D3, D3X, NIKKOR Lenses

Lap up Formula NIPPON!

Entertainment

11:30-12:10 ピットウォーク

大人気のピットウォークマシンを間近で見たり、憧れのドライバーからサインをもらったり、キャンギャルを撮影するのもいいかも。8:00よりメインスタンド下Bゲートでチケットを販売。参加料金2,000円



11:30-12:10 (ピットウォーク時) 第2回日本一速く走る男女決定戦

1周4,563mのレーシングコースを自分の足で走ってみませんか? 脚力に自信のある方であれば誰でも参加可能。男子、女子、子ども各クラス1~3位入賞者に豪華賞品も。6:30~10:00総合案内所にて受付。参加料金: 無料



イベントステージ

ドライバートークショー

フォーミュラ・ニッポンドライバーが開戦にける意気込みやプライベートな話などを披露。初参戦の新人ドライバーのトークに注目です。



レースクイーンステージ

富士スピードウェイイメージガール“クレインズ”や各チームレースクイーンのPRショーや楽しいファンサービスをお楽しみください!



イベントステージタイムスケジュール[4月5日(日)]

09:00-09:25	FNチームレースクイーン・キャンギャルオンステージ
10:25-10:40	FSWイメージガール“クレインズ”オンステージ
12:20-12:40	ドライバートークショー ルーキー3人衆登場!
13:00-13:25	FNチームレースクイーン・キャンギャルオンステージ
13:45-14:10	日本一チョロQをまっすぐ走らせる子供決定戦(2回目)

イベント広場

高木プランニングカート教室

レーシングドライバー高木虎之介がプロデュースする小学生対象のカート教室。モータースポーツの楽しさを体感しよう。終日開催。希望者は長袖、長ズボン、運動靴を持参の上、保護者同伴。参加料金: 1,000円



ミニスロットカーコーナー

コントローラーを手に電極の付いた溝に沿って模型サイズのマシンを走らせるスロットカー。大人から子どもまで楽しめるゲームです。参加料金: 無料



第1回日本一チョロQをまっすぐ走らせる子供決定戦

チョロQを誰が一番まっすぐに走らせることができるかを競う、国内初?イベントです。参加料金: 無料



キッズスクエア

エアートランポリン“ふあふあ”などを備えた、お子様が思いっきり体を動かして遊べるスペースをご用意しました。終日開催。参加料金: 無料



未来のトップドライバーの走りを見よ! フォーミュラチャレンジ・ジャパン



フォーミュラチャレンジ・ジャパン(FCJ)は、2006年、トヨタ、ニッサン、ホンダの自動車メーカー3社が協力して創設した新しいジュニア・フォーミュラカーレース。その理念は「世界で活躍する有能な若手ドライバーの発掘と育成」および「日本のモータースポーツの裾野を広

げ将来を支える人材の育成」という点に置かれています。FCJでは、参加車両がワンメイクであるばかりか、独自の改造を一切禁じた管理下に置かれます。セッティングまで同一の車両を用いることでドライバーのテクニックが浮かび上がり、分析とトレーニングの効率性が上がると共に、優劣も明らかになります。

シリーズを通して優秀な成績を収めた選手には、上位カテゴリー(F3相当)へステップアップするためのスカラシップが与えられ、これまでに全日本F3選手権やフォーミュラノー英国選手権へドライバーを送り出してきました。若いレーシングドライバーが腕を磨き、その才能を証明してトップカテゴリーへ進出するための近道がFCJです。

Support races result (top10)

全日本F3選手権第1戦決勝結果

Po No	Driver	Machine	Time/Gap
1	36 井口 卓人	PETRONAS TOM'S F308	26'08.401
2	1 M.Ericsson	PETRONAS TOM'S F308	-0.036
3	37 國本 雄資	PETRONAS TOM'S F308	-4.747
4	2 K.Cozzolino	TODA FIGHTEX	-6.861
5	62 藤原 宏紀	DENSO-ルボ-ゼF308	-24.674
6	33 岩崎 祐貴	イワスキインダストリーF308	-26.894
7	12 安田 裕信	ThreeBond	-27.731
8	18N 関口 雄飛	EBBRO AIM F307	-30.353
9	8N 小林 崇志	HFDP RACING	-35.963
10	22N 千代 勝正	NDDP EBBRO	-36.262

周回: 15周/天候: 曇雨/コース: ハーフウェット/参加16台

FCJ第1戦決勝結果

Po No	Driver	Machine	Time/Gap
1	4 佐々木 大樹	NDDP オートバックスFCJ	25'50.133
2	16 蒲生 尚弥	FTRS FCJ	-1.247
3	1 中山 雄一	FTRS RAJAS FCJ	-5.181
4	13 川村 和希	プロジェクトKK	-10.725
5	18 大谷 涼	タカギプランニング FTRS	-11.240
6	12 松本 武士	NDDP プロバイル FCJ	-13.181
7	10 朱 龍雄	Dragon Knight	-14.412
8	3 金井 亮忠	FTRS-チームNATSFCJ	-15.095
9	17 三浦 和樹	HFDP/SRS スカラシップ	-17.956
10	15 飯野 竜也	NDDP FCJ	-21.599

周回: 15周/天候: 曇り/コース: ドライ/参加18台

ホンダエキサイティングカップワンメイクレース2009

〜シビックシリーズ〜東日本シリーズ第1戦予選結果

Po No	Driver	Machine	Time
1	55 山口 吉明	ミタM-TECSPMμFD2	1'58.486
2	8 伊藤 博之	DRAWING MS-μ FD2	1'58.548
3	24 Takamori.com	NUTECインパルスCIVIC	1'58.709
4	72 小川 鉄也	オートバックスμDXLμFD2	1'58.752
5	813 ヒストン西沢	J-WAVE CIVIC ED	1'58.969
6	68 並木 重和	ENEOSDDニイゼCIVIC	1'58.988
7	26 吉田 一久	エンドレスチームサヤマFD2	1'59.012
8	92 青柳クニシ	アークテックCGWコースシビック	1'59.821
9	70 小林つねはる	BOSS-HKSメックカVシビック	2'00.049
10	78 吉橋 孝之	スノコムカース市川北宮城FD2	2'00.123

天候: 曇り/コース: ドライ/参加14台

Flash of Revolution 革新の閃光-“FN09”Debut

レーシングドライバーのプライド。それは誰よりも速いこと。オーバーテイクの意志を示す光が煌めくとき。マシンは閃光となってストレートを駆け抜ける。2009年、さらに過激に進化したフォーミュラ・ニッポン。男の戦いがそこにある。



The Real Racing Sport: Formula NIPPON